

學 藝 新 聞

第9号
2018年(平成30年)3月20日発行

- 一年留学へ出発 1
- OGOP帰国・病院見学 2
- 卒業式・マルチカルチャーデー 3
- 輝く人(卒業生・在校生紹介) 4・5
- 学芸トピックス・表彰 6・7
- 学芸スポーツ 8

発行元
大阪学芸高等学校
OSAKA GAKUGEI SENIOR HIGH SCHOOL
大阪学芸高等学校附属中学校
OSAKA GAKUGEI JUNIOR HIGH SCHOOL
〒558-0003 大阪市住吉区长居1丁目4番15号
TEL.06-6693-6301 FAX.06-6693-5173
www.osakagakugei.ac.jp/senior




1月24日、ニュージーランドへ向けて出発しました

Osaka Gakugei Nelson Program
O.G.N.P
平成29年度より創設の留学プログラム。ニュージーランドのネルソン地区にあるワイミア高校に留学します。

OGNP1期生3名は、世界中から留学に来た留学生70名とともに、留学生生活をスタートしました。ヨーロッパ諸国からも人気の留学先です。在校生や他国の留学生と入学初日から英語でコミュニケーションをとるように頑張っています。



ホームステイ先のプールにて



ニュージーランド・ネルソンの現地や学校での様子

ワイミア高校での授業風景



一年留学へ出発!!

アクティビティの種類が多く、豊かな環境の中で英語を学習できる点がとても良いと思いました。積極的にコミュニケーション能力を向上させたいと思います!

自分の将来の夢を叶えるために、約1年間ニュージーランドでたくさんのお話を体験し、学び、一回り大人になって帰ってきます。

本校独自の留学プログラムにおいて、1月13日(土)にはOGOPに参加する28名が、1月24日(水)にはOGNPに参加する3名が、それぞれ出発しました。

出国日が土曜日ということもあり、とても多くの家族や友人、先生が空港まで見送りにきていました。1年間離れ離れになる淋しさを涙を流す姿も見られましたが、新生活への期待を胸に元気に出発しました。



Osaka Gakugei Ottawa Program
O.G.O.P
平成27年度より創設した、本校独自の留学プログラム。カナダの首都オンタリオ州オタワの公立学校に留学します。

カナダ・オタワの現地や学校での様子



オリエンテーションの様子



授業風景



ウェルカムパーティの様子

学芸ニュース



一年間の留学を終え、カナダより 参加31名帰国



1月12日(金)、昨年カナダへ飛び立ったOGOP参加者31名が、さまざまな力を身につけて帰国しました。



ホストファミリーとその友人と一緒に、オタワから車で1時間くらいのところにあるthousand islandsに日帰り旅行に行きました。クルージングでは、多くの島々があり、とても景色が綺麗でした。

● 北野 桃菜 さん

私が留学中によく言われた言葉は、“Don't be shy”です。元々人見知りや初対面の人に話しかけることが苦手でした。しかし、カナダでは自分から何か行動しないと本当に何も始まらないと学びました。友達が欲しくても、自分から話しかけないと誰も来てくれません。いつまでも受身の姿勢でいることが、どれほど時間を無駄にするのか、身をもって知ることができました。

特に印象に残っているのは、現地の高校生です。日本とは違い、よく言えば自由、悪く言えばやりたい放題の環境で大きな問題が起きないのは、生徒一人ひとりの意識の持ち方によるものだと感じました。自由な校風を活かし、自分が学びたい教科をリラックスしながら真剣に受けている姿は、自分も見習おうと思いました。



日本語学校で行われたハロウィンパーティーの様子です。学校に通っている学生や先生からお菓子をもらって回りました。手作りの衣装を着ている子もいて、とても印象深かったです。

● 木村 サクセス 瑠伊 さん

印象に残っていることは、3ヶ月間行った日本語学校でのボランティアです。日本語学校に通っている子どもたちがとても可愛く、とても楽しみながら毎週活動することができました。僕が日本語学校に来る最後の日に、子どもたちがそれぞれ手紙やプレゼントを渡してくれ、泣きそうになりました。この子どもたちが大きくなって、僕のことを覚えておいて欲しいなと思います。

● 仲村 優志 さん

カナダに着いて最初の3ヶ月は、日本に帰りたくて毎日のように思っていました。しかし、一歩踏み出す勇気を出してクラスメイトたちに話しかけることで、ネットワークのように友達を増やすことができ、先生とも友達のように話せるようになりました。そのおかげで、友人からアメリカンフットボールのチーム



に誘われ、新しいスポーツに挑戦することもできました。さらに、そのスポーツが自分にピッタリだということに気づき、とても興味を持つことができました。地域のチームでも、アメリカンフットボールのクラブに入ることで、大会や試合などを通して他校の人とも友達になることができました。今では、留学当初の気持ちが嘘のように、もう一度カナダに戻ってその友達に会いたいと思っています。

アメフトの試合後に撮った写真です。この試合では、自分がインターセプトを成功させることができただけでなく、チームも勝利を収めることができ、とても嬉しかったです。

● 甘崎 貴子 さん

留学に行かなければ出会うこともなかった仲間、1年間サポートしてくれた第2の家族、そして日本から応援してくれた家族と、沢山の人の支えられて留学期間を終えることができました。そのおかげで、日本では一生経験できないような苦労や困難にも立ち向かうことができました。一年を通して、語学力の向上はもちろんのこと、私が一番変化を感じたのは、自分自身です。初めて親元を離れ、日本語も通じない世界で過ごしたことで、自立心が芽生え、やればできる!!という実感から自分に自信を持つことができました。小さな体験が積み重なって大きな気づきとなり、そのことが私の価値観を大きく変え、人生そのものさえ変わった気がします。この経験は私の人生において確実に実り多いものとなりました。



留学期間も終盤に入った頃、ホストファミリー、マザーと食事に行ったときの写真です。普段は3人のホストシスターもいるので、なかなかファミリーやマザーとゆっくり話す機会がありませんでした。そのため、留学で何を学んだかなど、とても深い話をするのが嬉しかったです。

1年生特進 看護コース

病院見学に行ってきました!



12月11日(月)、特進看護コースに在籍する1年生は、大阪市内にある住友病院の見学をさせていただきました。

受付のシステムや入院する部屋の紹介から始まり、救急センターや検査部門など普段は入れないような病院の内部まで、多くの施設を紹介していただきました。救急車から救命救急室へ搬送されるルートや、血液を検査する何台もの大きな機械を間近で見せていただくこともでき、生徒たちは緊張しながらも真剣なまなざしで見学していました。

また、各部門の方々から現場の生の声を聞かせていただく機会があり、生徒が率直に感じた疑問をぶつける場面も見られました。

今回の経験を、夢に向かって進む力のひとつにしてもらえたらと思います。



自分が考えていた以上に、たくさんの方と協力し合いながらひとつの病気を治していくものなんだと気付いた。

生徒の声

病院で働く人たちはみんな自分の仕事に誇りを持っており、それぞれがお互いの部門を尊重し合っていた。その様子がとても素敵でよかった。

附属中学校

マルチカルチャーデー

—多文化共生の「学び」—

附属中学校の英語教育・国際理解教育では、英語圏の人びとに限らず、母語を共通にしない人びととのコミュニケーションツールとして英語を捉えるとともに、その前提として、多文化共生の「学び」を深めることに重点を置いています。

週6時間の英語授業と、週2時間の「国際理解教育」(総合的な学習の時間)の成果を生かす取り組みとして、附属中学校では、各学年とも2学期後半にマルチカルチャーデーを実施することになっています。今年度は平成29年12月11日(月)に実施しました。

第113回 卒業式

卒業生571名 未来へ翔ける!

平成30年2月22日(木) 本校本館体育館にて、第113回卒業証書授与式が挙行されました。



入場風景

吹奏楽部の演奏が流れる中、緊張した面持ちで入場しました。



卒業証書授与

担任の先生が一人ひとりの名前を読み上げ、クラスの代表者が壇上で証書を受け取りました。



皆勤・精勤賞受賞者

今年度は、3年間皆勤賞受賞69名、精勤賞受賞67名でした。



卒業記念品目録贈呈

贈呈品として、屋外掲示板をいただきました。



学校長式辞



三賞受賞者

大阪府教育長賞をはじめ、三賞の表彰がありました。



大阪府教育長賞



日本私立中学高等学校連合会会長賞



大阪府私立中学高等学校連合会会長賞

送辞・答辞



送辞



答辞

送別歌斉唱



花束贈呈



卒業生退場



最後のHR



1年生



1年生は、昨年度に引き続き、大阪府交際交流財団から4名の方をお招きし実施しました。オーストラリア、韓国、ブラジルの方。そして、昨年度のロシアに代わって今年度はエジプトの方にご来校いただきました。

前半は地下ホールでスクリーンも使いながら、クイズ形式も交えた各国の紹介。そして、後半は体育館に場所を移して、国ごとのアクティビティを順番に体験していきました。

エジプトの方からアラビア文字を教わったほか、フレヴォと呼ばれるブラジルの激しいダンスを練習したり、自作のチェギチャギ(韓国の羽根蹴り)で遊んだり…、体を使ってのまさに異文化「体」験でした。

2年生



2年生は、神戸にあるJICA関西まで貸切バスで出かけました。海外協力隊の一員としてフィジー共和国で活動をしてこられた職員の方にご案内いただき、開発途上国の現状やJICAによる国際協力などについて学んだあと、実際にフィジー共和国での活動の様子をお話いただきました。

また、昼食はふだん食べることのないオース料理をみんなで楽しみました。パクチーの風味は苦手な生徒もいたようですが、自分たちで給仕しながら、小学校での給食さながら和気あいあいとした雰囲気でした。

最後に、広報展示室で各国の民族楽器や民族衣装を楽しんだあと、現地をあとにしました。

卒業生の活躍



劇団四季で俳優として大活躍!!

2010年度 特進コース 卒業生

きたむら まさる
北村 優 さん

劇団四季で俳優として活躍している北村さん。『キャッツ』の舞台の終演直後、俳優という仕事や舞台にける想い、後輩へのメッセージなど、熱く語っていただきました。



プロフィール 北村 優 2010年度卒業生

経歴

劇団四季入団以前にもいくつかの舞台に出演した経験があり、子役時代には『ライオンキング』ヤングシンバを演じていた。ジャズダンス、タップダンス、クラシックバレエや声楽、演技などのレッスンを重ね、2013年研究所入所。『魔法をすてたマジョリン』ダビッド、『赤毛のアン』ギルバート・ブライス、『ジーザス・クライスト=スーパースター(エルサレム・バージョン)』ペテロ、『人間になりたがった猫』ライオネル、『エルゴスの祈り』ジョン、『キャッツ』スキンプルジャンクス、『アラジン』タイトルロールを演じている。



撮影:下坂敦俊

活動をしていく中で、辛かったことや成長した部分を教えてください

僕らの仕事は、頭で考えることと心で感じる事が両立していないといけないのですが、僕はどちらかというと考えすぎてしまう方なので、稽古ではそこを徹底的に指導して頂きました。今だからこそ、こうして冷静に分析できますが、指導されている当時は何がいけないのかわからず、とても苦しかったです。

成長できた部分もありますが、舞台は生ものですし、毎回違った反応があり常に課題もでてきます。現状に満足するのではなく、更に良いものをお届けできるよう努力していきたいです。

地元の大阪で演じる、ということに何か思い入れはありますか

劇団四季では、北は利尻島から南は石垣島や宮古島など全国各地で上演を行っています。どの公演地でも温かく迎えてくださり、毎回の出会いに感謝しています。地元の大阪では、友人が観に来てくれることもあり、「客席のあの辺りで観ているな」と意識が向いてしまいそうになることもあるので、俳優として修行の場ですね。

以前、岩手県の宮古市での公演に出演したことがあります。震災から3年後、その地域の劇場がようやく復興して、その最初の公演が僕たち劇団四季でした。その公演は、地域の方をご招待して上演したのですが、開演前から多くのお客様が並んでくださっていました。作品中の僕のセリフに「友達というのは、どんなときでも、苦しい時はその辛さを半分こできるし、嬉しい時はその喜びを半分こできるんだよ」と魔法の女の子に教えてあげるシーンがあったのですが、それをこの方々の前で言う重さ、責任など、さまざまなことを感じました。終演後のロビーでの見送りでは、「来てくれるのをずっと待っていました」と声をかけてくださるお客様がたくさんいらっしゃって、とても貴重な出会いになりました。

最も印象に残っている公演は

『アラジン』のアラジン役でデビューした日です。今でも覚えているのですが、2017年1月14日の夜公演で劇場は約1200人のお客様で満席、開演前にはプレッシャーに押しつぶされそうでした。そのとき、もう自分の力ではどうにもならないと感じ、あとは共演者の皆さんやスタッフさんたちを信じて頼るしかないと思いました。本番中の記憶はあまり残っていませんが、カーテンコールで、最後に自分がセンターに立ってお辞儀をしたときに、とても温かい拍手をいただき、公演が終わった後は、数か月の稽古に付き合ってくれた方々や、観に来てくださったお客様への感謝の気持ちでいっぱい楽屋で号泣しました。

劇団に入ってから、さまざまな役に挑戦させて頂く

舞台俳優を目指したきっかけは

初めは舞台が好きな母親のすすめでした。しかしここまで続けることができたのも、幼い頃から舞台が好きだったからだと思います。

中学、高校は舞台から離れていたのですが、やはり舞台に対する気持ちが変わらなかったため、改めてこの世界に飛び込みました。子役をやっていたからこの世界を目指したのかと言われることもありますが、自分の舞台への思いが一番大きいです。どれだけ早く始めるかよりも、どれだけ好きでいられるかの方が大切だと思っています。大学を受験したときは演出をしたかったのですが、徐々に俳優になりたいという思いが強くなり、劇団四季の入団オーディションを受けました。



たびに、頑張らなくちゃという意識がありました。しかし、ただがむしゃらに作品を背負いこんで、僕の中で作品が完結してしまうと、人と人との関係性や、物語の本質が見えてこなくなってしまう。背負いすぎず、比べず、自分を信じて周りを信じる。これは今後僕にとって大きな課題です。



撮影:下坂敦俊

右上がスキンプルジャンクス

どのような高校生活を送っていましたか

自治会で副会長を務め、自分たちのやりたいことをたくさんさせてもらいました。人に何かを提供することが好きだったので、文化祭などの学校行事を盛り上げるために、従来のやりかたや内容にとらわれず活動しました。僕らの代は、予算を多めに計上してもらい、仮設舞台を組んで芸人さんと呼んだり、音響などの業者も変えたりと新しいことに取り組みました。

後輩へメッセージ

学生時代というのは、失敗ができる環境だと思います。当時は全然わからなかったのですが、大人が守ってくれているんですね。だからこそ、その恵まれた環境の中で好きなものを好きだという勇気を持ってたら良いのかなと思います。

いま僕が演じている『キャッツ』のスキンプルジャンクスという猫は鉄道を愛しているのですが、彼は作品

在校生の活躍

の中ではっきりと自分の好きなものを好きだと言います。心を閉ざさずに自分はこうだということを言う勇気をスキンプルシャックスは持っているし、だから皆が好感を持つ。例えそれがマイノリティだったとしても、言う勇気を持つということは周りを幸せにするし、自分も幸せになると思います。

例えば、子供のころ野球選手やサッカー選手になりたい!という夢があり、あるときプロの道はあきらめたとしても、好きでいつづけられたら、別の形で関わる仕事

に就く可能性もあるでしょうし、進路も自ずと決まってくるのかなと思います。

本当に好きなものを好きと言ってやり続けていけば、必然的に充実した日々を送ることができると感じます。もしかしたらご家族に心配されてしまうこともあるかもしれませんが、好きな道を信じて進んでいって欲しいです。

まずやりたいと思うことをやって、自分に嘘なく生きることを大切にしてください。

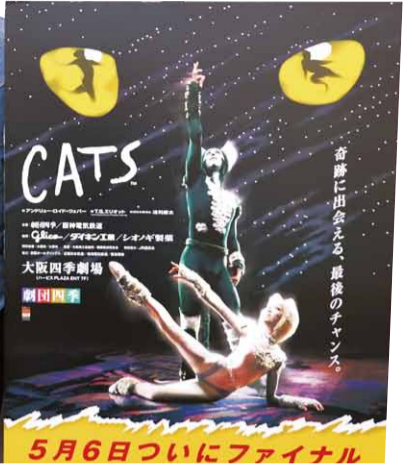


左端がスキンプルシャックス

撮影:下坂敦俊



大阪四季劇場で上演中の『キャッツ』ついに千秋楽



見どころは...

「ネーミングオブキャッツ〜猫の名」という、猫が客席においてお客様へ語りかけるナンバーがあります。ダンスや歌が魅力的なミュージカルですが作品の哲学的な部分が特に表現されているこのシーンはぜひじっくりと味わっていただきたいです。この作品では、猫の視点から猫の世界を描いていますが、人間にも当てはまるところがたくさんあります。個性豊かな猫の生きざまが、「誇り高く生きているか」ということを問いかけてきます。ぜひ、猫一匹一匹と自分を照らし合わせてみて欲しいです。



目指せ!ユースオリンピック!

特技コース 2年1組 奥野 有季さん

世界選手権を目指して日々練習に励む奥野さんにトランポリンの魅力を知りました。



主な戦歴

- 2015
 - 第2回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会 13~14歳女子 2位 (2015年 世界年齢別トランポリン競技選手権大会日本代表選考会)
 - 第1回全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会 13~15歳女子 優勝
 - 第24回世界年齢別トランポリン競技選手権大会 シンクロ 2位
- 2016
 - 第7回都道府県対抗トランポリン競技選手権大会 15~16歳 優勝
 - 第3回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会 15~16歳 2位 (2016 インドパシフィックトランポリン大会日本代表選考会)
- 2017
 - 第8回都道府県対抗トランポリン競技選手権大会 15~16歳 優勝
 - 全日本トランポリン競技年齢別選手権大会 15~16歳 2位 (第25回世界年齢別トランポリン競技選手権大会日本代表選考会)
 - 第42回全国高等学校トランポリン競技選手権大会 10位
 - 第54回全日本トランポリン競技選手権大会 21位
 - 第25回世界年齢別トランポリン競技選手権大会 個人5位、シンクロ2位
 - 川崎市長杯争奪2017国際ジャパンオープン 15~16歳女子 優勝
- 2018
 - 第4回アジアジュニアトランポリン競技選手権大会日本代表選考会 2位
 - 第9回都道府県対抗トランポリン競技選手権大会 17歳以上女子 42位

トランポリンとはどのような競技ですか

トランポリンと聞くと、びよんびよん跳んでいるだけのイメージを持たれますが、実際にはとても難易度の高い体操競技です。トランポリン中心部にある正方形の枠の中で技をかけ続けなければなりません。その枠から出てしまうと、競技では減点されてしまいます。後方2回宙や前方宙返り1回半ひねりなど、異なる10種の技を組み合わせ、それぞれの技の高さ、美しさ、難しさと競います。現在、東大阪にあるトランポリンハウスで毎日3時間ほど練習をしています。

トランポリンを始めたきっかけは

小学4年のときに体操教室に入ったことがきっかけです。最初はマット運動をしていたのですが、トランポリンを跳んでいる人を見て、自分もやりたいと思うようになりました。初めて跳んだときの、地面では味わうことのできないふわふわとした感覚が、とても楽しかったのを覚えています。

活動をする中で、うれしいこと・辛いことなどを教えてください

周りには小学1年の頃から始めている選手も多く、自分が始めたときには、すでに2回宙返りができる選手ばかりでした。そのため、このままでは全日本の大会にも出場することができないと言われました。しかし、負けず嫌いだったこともあり、人一倍練習に励み、中学3年には日本代表に選出されるまでになりました。このとき、今までの努力が報われて本当に嬉しかったです。

辛かったことは、やはりスランプですね。昨年、国際大会への出場が決まってから、「失敗したらどうしよ

う」と考え込んでしまい、怖くて跳べなかった時期がありました。技をかける前に「失敗したらどうしよう」と考え込んでしまい、怖くて跳べなかったのです。このままでは、国際大会に出場することすらできないと自分を奮い立たせ、昔の技の動画を見直して気持ちを切り換えました。まだ波はありますが、かなり克服することができたと思います。

トランポリンの魅力は何ですか

やはり、迫力ですね。オリンピック選手であれば、トランポリンでビルの3階相当の高さ（7~8メートル）を跳びます。滞空時間も、1回の跳躍で2秒ほどになります。また、それぞれの大会では、技の高さ、美しさ、難しさごとに評価され、それぞれに秀でた人に特別賞が贈られます。去年、技の美しさで賞をいただきました。ただ跳ぶだけじゃないということも、魅力だと思います。

将来の目標は何ですか

世界選手権に出場し、金メダルを獲りたいです。世界選手権には17歳以上の選手しか出場することができない上に、2回の大会で4位以上かつ基準点クリアが出場の条件となります。良い成績を残し、世界選手権という大きな舞台で活躍したいです。また、トランポリンはマイナー競技なので、大きな大会で優勝することでテレビなどのメディアに取り上げてもらい、競技知名度を上げていきたいです。競技人口も増えるといいなと思います。



表彰台一番左が奥野さん

学芸トピックス

優秀な成績を

H30年1月~2月の間に
素晴らしい成績を残したクラブ・
生徒を紹介します。

表彰します!!



高等学校

セレッソ大阪 堺ガールズ

JOCジュニアオリンピックカップ
第21回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会

準優勝	1年	北 いぶき、芳本 小夏、加井 菜月、松本 歩音
	2年	宮本 光梨、山下 莉奈
	3年	矢形 海優、森中 陽菜、宝田 沙織

フィギュアスケート

第86回 全日本選手権大会

18位	3年	森下 実咲
-----	----	-------

第67回 全国高等学校スケート選手権大会

Aグループ12位	最終36位	1年	高村 幸来
Cグループ4位	最終13位	3年	森下 実咲

*この結果を受け、学校順位が9位となりました。

女子サッカー部

第26回 全日本高等学校女子選手権大会

ベスト8

レーシングカート

2017 鈴鹿選手権シリーズ Parilla X30 CLASS カートレース in SUZUKA

第2位	1年	木下 冬馬
-----	----	-------

バトントワリング

大阪市体育協会会長杯「大阪バトントワリング競技大会」

ソロトワール高等学校2年生部門	第5位	2年	藪田 亜佳音
ソロストラット高等学校2年生部門	第2位		

第43回 全日本バトントワリング選手権関西大会

ソロトワール女子 U-18	第2位	1年	大黒 愛美	*全国大会へ出場決定
2バトン女子 U-18	第3位			

ブレイクダンス

Youth Olympic アジア・オセアニア大陸予選 BBoy 1vs1

優勝	1年	半井 重幸
----	----	-------

*WDSF世界ユースブレイクダンス世界選手権大会に日本代表としての出場決定。
この大会が、ブエノスアイレスユースオリンピックで新種目となるブレイクダンスへの
出場をかけた2次予選となります。



吹奏楽部

第44回 大阪府
アンサンブルコンテスト
高校の部 金管八重奏

金賞代表

第44回 関西
アンサンブルコンテスト

銀賞

2年	田淵 実咲、中澤 華里奈、中本 有咲、大出 美月、柳川 真子、東 春花、 笠嶋 竜成、八塚 理那
----	---



第8回 大阪芸術大学 管打楽器 アンサンブルコンテスト 高校の部

フルート三重奏	金賞	2年	上山 陽保、松村 春
		1年	出来 沙也佳
サクソ六重奏	銀賞	2年	丑寅 颯太、和田 菜那美、前川 梨花、 北浦 菜奈、北尾 真優、宮前 麻里

管弦打楽器ソロコンテスト 大阪地区大会

アルトサクソ	金賞	*大阪地区代表 第3位	3年	二階堂 友稀
	金賞		2年	宮前 麻里
トランペット	金賞	*大阪地区代表 第2位	2年	笠嶋 竜成
	金賞	*大阪地区代表	2年	東 春花
ホルン	銀賞		2年	藤野 はな

コーラス部

第17回 大阪ヴォーカル
アンサンブルコンテスト 混声合唱

銀賞



空手道部

第31回 桃太郎杯 全国高等学校空手道錬成大会

優勝	1年	坂地 心
----	----	------

第37回 近畿高等学校空手道大会

女子団体形	優勝		
男子団体形	準優勝		
女子団体組手	第5位		
男子団体組手	第5位		
女子個人組手	優勝	1年	坂地 心
	第3位	1年	辻 紫帆
男子個人組手	第5位	2年	中川 連
男子個人形	第3位	2年	乗松 虹輝
	第5位	2年	田中 透也
女子個人形	第5位	2年	高尾 恒輝
	第3位	2年	福西 芽生



*3月に香川県高松市で行われる「第37回全国
高等学校空手道選抜大会」に、全種目出場決定

附属中学校

ピアノ

2017年度 ブルグミュラーコンクール大阪大会(中学生部門)

予選 神戸地区大会	優秀賞	1年	吉田 英梨奈
本選 大阪ファイナル	銀賞		

*第2回 PTNA甲子園支部 入賞者記念コンサートに出場しました。

吹奏楽部

管弦打楽器ソロコンテスト 大阪地区大会

トロンボーン	銀賞	2年	大山 翼
ユーフォonium	銀賞	2年	新矢 奏大

シンクロナイズドスイミング

第21回 13~15歳 ソロ・デュエット大会

ソロ	第9位	2年	加藤 綺良々
デュエット	第4位		

女子バレーボール部

第42回 大阪中学生バレーボール新人大会

ベスト8	*第50回 近畿中学生バレーボール選抜優勝大会に出場決定。
------	-------------------------------

本校女子サッカー部より U-17 日本女子代表 選出!!

年末年始に行われた全日本高等学校女子サッカー選手権大会の活躍を受け、本校の岩本 まりのさん(1年)がU-17日本女子代表に選出されました。これにより、3月18日からアメリカに遠征します。温かい声援のほど、よろしくお願いいたします。



岩本まりのさん
(1年)

初めて代表に選出され、とても嬉しいです。全国大会で、自分の特徴であるスピードを生かしたプレーができたからこそだと思っているので、遠征試合でも緊張せずに自分らしいプレーをしたいです。そして、得点を取ってチームに貢献し、World Cup出場選手に選ばれるよう頑張りたいと思います。将来はなでしこJapanに入って、観ている人を元気づけられるようなプレーをしたいので、その第一歩となるよう全力でプレーします!

平成29年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール 多数入選しました!

毎年、美術の授業では、1学期にポスターを制作しています。今年度も147名の作品を本コンクールに出品した結果、9名が大阪市(第一次審査)に、さらにその中から、5名が大阪府(第二次審査)に入選しました。

5年前より、実際に使われている投票箱や投票記載台を、住吉区役所からお借りして制作の参考にさせていただいています。入選した9名の作品は、いずれも美しい色彩と丁寧なレタリング、テーマの趣旨を正確に

伝える内容で、それぞれ個性の光る作品ばかりでしたので、納得のいく結果でした。

一昨年の夏より18歳から投票が可能になりましたので、高校生にとっても、より身近なテーマとして制作に取り組める事になったと感じています。今後も、さらに新しく魅力的な作品が生まれていく事を楽しみに、このコンクールには出品を続けていきたいと思ひます。



大阪府(第二次審査)入選作品につきましては、大阪府のホームページでも閲覧ができます。
<http://www.pref.osaka.lg.jp/senkan/akaruisenkyo/29gallery-kou.html>

大阪府(第二次審査)入選
大阪市(第一次審査)入選



前方右から、上出 菜摘さん、西尾 亜優さん、須藤 花菜さん
後方右から、米倉 美優さん、荒木 輝さん

大阪市(第一次審査)入選



前方右から、前田 菜友さん、宮城 桃子さん
後方右から、古賀 ジェニファーさん、芝野 康平くん

書道同好会 入賞多数! 夏期練成会の成果発揮



夏休み中に、1日中書と向き合う夏期練成会を行いました。そこで培った力を、さまざまな展覧会において発揮し、素晴らしい成果を収めることができました。

今後も、よりよい作品を書けるよう、課題を見つけて取り組んでいきたいと部員一同意気込んでいます。

○全国書画展覧会・第36回ふれあい書道展

特選 前田 瑞歩さん(高2年)

「中原中也の詩より」

○第38回大阪府高等学校芸術文化祭 書道部門

入選 前田 瑞歩さん(高2年)

「石川啄木『一握の砂』より」

※大阪市立天王寺美術館にて展示されました。

○第29回大阪私立高校書道展

書道展賞 前田 瑞歩さん(高2年)

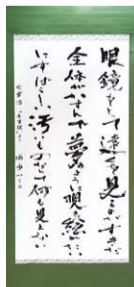
「太宰 治『女生徒』より」

○第64回日本書展

準特選 澤田 恵美さん(附属中1年)

前田 瑞歩さん(高2年)

入選 西村 海さん(附属中2年)、津留崎 櫻さん(高1年)、奥田 寧香さん(高1年)、安井 結香さん(高2年)、黒木 千桜さん(高2年)



「太宰 治『女生徒』より」
前田 瑞歩さん

大阪学芸 ボランティアサークル 今年も大阪マラソンを 応援しました!!

第7回「大阪マラソン」は平成29年11月13日(日)に開催されました。ボランティアサークルの参加者28名(高校生23名、中学生5名)は、かなり肌寒い早朝に集合し、17.5キロ地点である、なんば(湊町付近)で活動しました。

8時半頃より、大きなかごに運ばれてくるテーブルや旗、ごみ箱などの備品を全部自分たちで組み立て準備するところから始まります。慣れない作業をてきぱきとこなしていき、ようやく準備が調ったら一息つく間もなく、最初の車いすランナー群が通過していきます。そこからは間をおかず、給水の活動です。ランナーお一人おひとりに「がんばってください!」「ファイト!」といった声援をかけることも大事な任務です。ランナーへの水提供の裏で、何十箱もの段ボールからペットボトルを出し、それらを潰して仕分ける作業のほか、ごみ箱周辺に散乱した紙コップの残骸を清掃するなど、平行して行う作業は山積しています。



ランナーのことを考え、みんな脇目もふらず給水に頑張りました。

約3万2千人のランナーに対してボランティア約1万人。その中の28名として、大きなイベントを支え運営する「プレッシャー」と同時に「やりがい」と「責任の大きさ」、そしてなによりも「奉仕することのすがすがしさ」を実感しながらの活動でした。



生徒の声

当日は気温も低く、水を扱う活動なのでとても寒く大変でした。しかし、ランナーの皆さんが笑顔で水分補給されている様子や一生懸命に走っている姿を見たり、ランナーの方から逆に私たちのボランティア活動を応援されたりすることで、自分も頑張らなければと触発された一日でした。





初出場

第26回

全日本高等学校女子 サッカー選手権大会



試合結果

1回戦

12月30日(土) 13:45~
大阪学芸 vs 常盤木学園
みきぼろパークひょうご第1球技場
前半 0-0
後半 1-0 得点 矢野 梨紗さん

2回戦

12月31日(日) 13:45~
大阪学芸 vs 神戸弘陵学園
五色台運動公園メイングラウンド
前半 0-0 後半 0-0
PK 5 vs 4

進々決勝

1月2日(火) 10:00~
大阪学芸 vs 福井工業大学附属福井
三木総合防災公園第2陸上競技場
前半 1-1 得点 中尾 純菜さん
後半 0-0
PK 2 vs 4

初戦は、常盤木学園高校との一戦でした。何とか相手の猛攻撃を守り切り、そして後半28分矢野梨紗さん(1年)が待望のゴールを決め、1-0で勝利することができました。この日、多くの先生方や吹奏楽部の皆さんのご協力で、応援にも力が入り、更にその力が選手一人一人に伝わったと思います。2戦目は関西大会でも対戦した神戸弘陵学園高校との戦いででした。前後半通して0-0の末、PK戦に突入しました。PK戦は5-4で勝ちました。

そして、新年を迎えた第3戦準々決勝、相手は福井工業大学附属福井高校。前半24分中尾純菜さん(1年)のゴールが決まったその2分後、相手にゴールを決められ同点に。後半はそのまま両チーム得点が入らず、2戦連続のPK戦となってしまい、



2-1で敗退という結果に終わりました。年末年始の大変忙しい時期にもかかわらず、多くの方々に応援にきていただき、またたくさんのご声援をいただきました。ありがとうございました。

第一戦の大金星から好スタートを切ることで、創部5年目にして、高校女子サッカー選手権ベスト8という結果を残すことができました。さらに上を目指して進んでいきますので、今後ともご声援よろしくお祈りします。



キャプテン
中西ふうさん(2年)
高校女子サッカー選手権ベスト8という結果を残すことができました。全国大会に出場することにより、さまざまなことを体験することができました。大阪予選や関西予選のときは全く違う緊張感、全国常連校に勝利したときの喜びやチームの一体感、全てが初体験でとても楽しく、大会期間を一瞬に感じました。

女子サッカー部より U-17 日本女子 代表選出!!

岩本まりのさん
(1年)

詳しい記事は6面に掲載しています。

